第31回JKJO全日本空手審判機構
中部地区審判講習会交流組手試合のお知らせ

第31回中部地区審判講習会交流組手試合を下記の日程にて開催いたします。
フルコンタクト空手のジュニア大会全盛の今日、ルールの統一、審判技術の向上を計り、どの大会に出場してもクリーンで公平・厳格なる大会となるためにも、各団体の皆様のご理解と、ご協力を頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。
また、審判員の参加人数に対して、選手の参加が極めて少ない為、進行が難しい状況にあります。
それに伴い、今回はトーナメント参加以外に 参加料500円で2時間の組手練習会を企画致しました。
組手練習会へのご参加も重ねてお願い申し上げます。 押忍

【 日　　時 】　平成29年４月９(日)
　９:30　開場・受付　10;00開会式 (受付、開会式は2階柔道場)
　10:30～12:30　組手練習会(1階剣道場 参加料500円)
　10:30～12:30　初心者講習会、練習試合(2階柔道場)　筆記試験(3階さくら たちばなの間)
　　初心者講習会 練習試合の際、保護者の皆様は柔道場への立入は禁止です。
　13:30～　　実技、交流試合(2階柔道場)

【 会　　場 】　津島市錬成館
　〒496-0025津島市中一色町中山26　TEL　0567-24-8001

【 主　　催 】　JKJO中部地区事務局

【 参 加 費 】　審判:600円(オスカラテ代金)
　交流試合選手:2，600円((組手練習会参加費とオスカラテ代金込))
　※但し、交流試合へ選手出場がない場合、1団体2，000円
　組手練習会のみの参加費　1人500円

【ﾗｲｾﾝｽ登録料】　1，000円　※ライセンス受験者、更新者のみ

【 持 ち 物 】　笛、リストバンド(主審)、ライセンス証(ライセンス取得者)、筆記用具(筆記試験を受ける方)

【 昼　　食 】　代表者・A・B級のライセンス取得者、今回A・B級受験の審判員のみ弁当付 (3階第1・2修養場)

【 服　　装 】　白または紺(指定)のYシャツ、紺または黒のスラックス、JKJOネクタイ
　※過度な化粧・頭髪の色、装飾品は禁止

【ﾗｲｾﾝｽ取得条件】高校生以上で空手修行4級以上の者。
　C級以上の受験者は原則空手修行5年以上かつ黒帯以上。
　(所属道場責任者推薦のある場合2級以上の者も受験可能)
　C級以上の受験者は救急救命セミナー講習経験が必要です。
　(所属道場等で救命講習を行った場合、修了書のコピーを提出してください)

E級	講習会参加3回目で取得(実技試験)
D級	E級取得後、講習会参加2回目で受験(実技試験)
C級	D級取得後、講習会参加2回目で受験(実技・筆記)
B級	C級取得後、講習会参加2回目で受験(実技・筆記)
A級	B級取得後、講習会参加2回目で受験(実技・筆記)
S級	S級検定試験(年2回開催)でのみ受験可能

　※前回受験で不合格となった方は、4ヶ月期間を置いて再受験してください。
　※初参加団体は、事前にJKJO参加申請書を提出してください。
　　個人初参加の方も、同様に個人登録JKJO参加申請書を提出してください。

【 注意事項 】　※受験申込書について
　ライセンス受験及び更新の方は、申込時に**受験申込書**を提出してください。
　ライセンス証発行の際に使用しますので、必ず写真を添付してください。
　未提出の場合は当日参加しても講習者扱いになりますのでご注意ください。
　※ライセンス有効期限について
　ライセンス有効期限は2年間です。失効する前に必ず更新受験を行ってください。

【 そ の 他 】　ご自分が現在何級なのか、今回受験可能か等不明な方は、事前に事務局へ問い合わせ願います。
　錬成館は館内、敷地内全てにおいて禁煙。飲食は必ず3階の第1・2修養場にてお願い致します。

【 締　　切 】　**平成29年3月9日(木)必着**　　※各道場でまとめて現金書留にて送付してください。
　①審判講習会参加申込書　②公認審判員受験申込書　③審判員受験更新料(1名につき1,000円)
　④オスカラテ代　⑤交流試合申込書・参加費　組手練習会のみの参加費(1名につき500円)

【 申 込 先 】　〒511-0065　三重県桑名市大央町47-1　JKJO三重 先田哲生(真誠塾)
　TEL　080－1619－9708　　FAX　0594－41－2898 (先田哲生)

JKJO全日本空手審判機構　審判講習会　参加申込書　（FAX可）

●開催内容（講習会開催者入力欄）

地　区　名（○をして下さい）	北海道 ・ 東北 ・ 甲信越 ・ 北陸 ・ 関東 ・ 中部 ・ 関西 ・ 中国 ・ 四国 ・ 九州			
講　習　会　開　催　者　名				
問　い　合　わ　せ　先	TEL		FAX	
講　　習　　会　　日	西暦　　年　　月　　日（　）		会場	
参　加　申　込　期　限	西暦　　年　　月　　日（　）			

●参加申込明細（参加者（道場）入力・記載欄）

道　　場　　名			代　表　者　名	
連　　絡　　先	TEL		FAX	

●参加者名簿（参加道場入力・記載）

＊今回受験の欄に記載した方は、別途「受験申込書」と、ライセンス登録料1,000円を期限までに提出して下さい。
　受験申込書が事前に提出されていないと、当日受験できませんのでご注意下さい。
＊まだライセンスを取得していない方は、現級欄に「講習1回」または「講習2回」と記載して下さい。
　講習3回目でE級受験となります。また初参加の方は、講習欄に「初参加」と記入して下さい。
＊ライセンス獲得者は、取得後1回講習を受けなければ次級受験ができません。次級受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
＊検定結果不合格の場合は現級更新扱いとなります。再受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
＊再受験の方はライセンス取得日欄に「●年●月●日●級不合格」と記入して下さい。例を参照。
＊ライセンス有効期間は2年です。昇級を希望しない方も失効前に要更新受験。

No	フリガナ 氏　　名	年齢	空手段級	現級（ライセンス）	ライセンス取得日	ライセンス取得後の講習日	今回講習の方	今回受験の方	ライセンス登録料
	（例）　初参加の方	30	4級	ー	ー	ー	初参加		
	（例）　講習2回目の方	18	2級	講習1回	ー	ー	講習2回目		
	（例）　講習3回目(E級受験)の方	25	初段	講習2回	ー	ー		E	1，000円
	（例）　D級受験の方	20	4級	E	2009/1/31	2009/7/31		D	1，000円
	（例）　D級取得後講習受講の方	40	弐段	D	2009/1/31	ー	○		
	（例）　B級再受験の方	25	初段	C	2009/1/31 B級不合格	2009/7/31		B	1，000円
	（例）　A級更新受験の方	50	参段	A	2008/3/1	2009/1/31		A（更新）	1，000円
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

合計　　円

JKJO全日本空手審判機構　公認審判員受験申込書

全日本空手審判機構公認審判員規程に則り、下記の通りライセンス受験を申し込みます。

JKJO公認審判員規程別１
受験者→講習会開催者→JKJO本部
登録料　1,000円

受験日	西暦　　年　　月　　日　（　）	会場名	
開催地区	北海道 ・ 東北 ・ 甲信越 ・ 北陸 ・ 関東 ・ 中部 ・ 関西 ・ 中国 ・ 四国 ・ 九州		

カラー写真１枚
３×４㎝・上半身
正装・脱帽
審判ｼｬﾂ・JKJOﾈｸﾀｲ着用
裏面に名前記入

写真の貼り付けが無い場合
ライセンス発行が出来ませんので、次回再受験となります

＊Ｓ級（準Ｓ級）受験の方はＳ級専用申込書にてお申込みください。＊前回受験で不合格となった方は4か月期間を置いてから再受験してください

受験級	Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ　Ｅ　級（○を付す）	受験区分	新規 ・ 再受験 ・ 更新（○を付す）		
登録No	ー　審判認定証参照 E級受験の場合未記入	所属道場			
ふりがな		生年月日	西暦　　年　　月　　日		
氏　名		性　別	男 ・ 女	年齢	※記入必須　歳
住　所	（〒　　－　　）　都道府県				
電話番号	－　　－	メール			
職　業		空手段位	※記入必須　級 ・ 段	空手修行歴	年　　ヶ月
現ﾗｲｾﾝｽ	Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ　Ｅ　級（○を付す）	現ﾗｲｾﾝｽ取得年月日	今回受験日が現級取得日から4か月以上経過していること　西暦　　年　　月　　日		
現ﾗｲｾﾝｽ認定検定員名	（審判認定証参照）				

現ﾗｲｾﾝｽ取得後の講習会参加日　※記入必須　＊Ｅ級受験の場合は、1回目と2回目の講習日を記入

西暦　　年　　月　　日　　西暦　　年　　月　　日　　西暦　　年　　月　　日

指定大会・公認大会審判経験

西暦　　年　　月　　日　大会名　　主審 ・ 副審

西暦　　年　　月　　日　大会名　　主審 ・ 副審

西暦　　年　　月　　日　大会名　　主審 ・ 副審

B級以上受験者 ： 救急セミナー参加経験　※B級以上は3年に一度受講義務になります。未受講の方は受験・更新できません。

※B級以上記入必須
西暦　　年　　月　　日　場所

S級受験者 ： 検定員補助経験

西暦　　年　　月　　日　場所

西暦　　年　　月　　日　場所

備考　＊道場の移籍、改名、住所変更等が生じた場合、記入してください

（以下、検定員記入欄）

JKJO全日本空手審判機構　公認審判員試験　合否判定

※実技試験検定員が3名以上いる場合、初めの2名のお名前がライセンス証に印字されます。

実技試験	検定員名	1		2		補助検定員名（A級）

※**減点方式**のため、問題が無ければ「５」に○を付けてください（例：ライセンス不携帯の場合減点１で「４」に○）

服装（審判認定証の携行・ネクタイ・シャツ・ズボン・頭髪の色・過度な化粧・装飾品）	5　4　3　2　1
入退場時の動作	5　4　3　2　1
反則、有効技に対する反応（アクシデントに対する対応も含む）	5　4　3　2　1
判定時の動作（笛・旗）・**姿 勢**（副審席・主審の場合立ち位置）	5　4　3　2　1
主審・副審間の連携（試合中反則選手への警告等）	5　4　3　2　1
判定の正確性	5　4　3　2　1

※筆記試験/90点以上合格　※実技試験/Ａ級27点以上・Ｂ級26点以上・Ｃ級25点以上合格

筆記試験	立会検定員名		点数	点	**実技試験**	点	**総合評価**　合格 ・不合格

特記事項	

公認審判員受験者は右の規定を読むこと

公認審判員規程の要約

●ライセンス受験する場合、この受験申込書とライセンス登録料を締切日までに講習会開催者に提出しないと受験できない。
●講習会当日、公認審判認定証を携行しないと、不合格となる。審判員は、大会、講習会で常に「公認審判認定証」を携行すること。
●ライセンスの有効期限は **２年間** です。失効する前に必ず更新受験を行うこと。
●各ライセンス受験資格と試験内容
　Ｓ級：Ａ級取得後、公認大会審判経験２回以上、講習会において検定員の補助業務経験２回以上、所属地区の検定員の推薦を受けたものが受験できる。筆記試験と実技試験。
　Ａ級・Ｂ級：筆記試験と実技試験
　Ｃ級：空手修行**黒帯以上**。但し、所属道場責任者の推薦がある場合空手修行 5年以上か２級以上の者も受験可。筆記試験と実技試験。
　Ｄ級・Ｅ級：**高校生以上かつ４級以上のもの**が受験資格を有するが、所属道場責任者の推薦がある場合その限りでない。実技試験。
●ライセンス取得後、次級受験には、1回の講習会受講が必要。但し、Ｅ級受験は講習会を２回受講すること。
●ライセンス受験で不合格となった場合、再受験は前回受験から ４か月期間を置くこと。
●Ｄ級以上の審判員は年に2回以上、公認大会で審判経験を積むこと。
●Ｂ級以上の審判員は救急士による**救急救命セミナーを３年に１度受講**すること。